

□原色版『赤い頭巾冠れる子供』はハツ切『朝日の窓』及び『ワンサンヌの池』はワットマン四切大に寫生せられたるものにて『ワンサンヌの池』は製版の時日不足の爲非常に出来に於て殘念に存じ居候。

『背景の下繪』は横二尺縦八寸大のものにて候。

□前號挿繪『上高地』は製版不出来にて原畫の趣を失ひ候。

□次號原色版には大下氏の『木崎湖』三條千代子氏の『薔薇』及丸山晚霞氏滯歐中の作品並に中川氏の水彩畫挿入の筈。

□記事には丸山、三宅、織田、鶴澤、磯、の諸氏の御寄稿有之べく候。

□日本水彩畫會研究所六月例會は二十三日午後より開會、渡邊寤也、岡精一、永地秀太氏來會出席生徒數、三十六名、出品六十點あつた。

□同所は七月十五日より九月八日迄夏季休暇である。十四日には七月例會を兼ね

丸山晚霞氏歡迎會を催された、出席總人員五十名丸山氏を初めとし岡、永地、藤島、磯部、望月、戸張、眞野諸氏出席丸山氏の面白き旅行談の後、晩饗を共にして、八時頃閉會された、

問に答ふ

■一、油繪に艶油を塗りて何の効有りや塗らざれば如何。二、河上より描いて水の前方に流るゝ様にするには如何なる特殊長を捕ふべきか。三、水彩繪具のフーカースグリーンが光澤を有するは何故なりや、之れを光からない様にする方法ありや、又光ても差支へなきや、四、今までの統系を見て美術學校出身と講習所出身といづれが成功しつゝありや、各出身の大家の姓名を問ふ、五、美術學校の洋畫家の諸先生の住所姓名を問ふ、六、文房堂の所在地を問ふ、七、山口縣に於て講習會を催さるゝ計畫有りや(福井春帆)◎一、繪具に光澤を持たす爲に用ゆれども、塗る必要なし、二、岩に激する波等に注意を拂はる可し、三、フーカースグリーンと

かカンボージの様な色の光るのは繪具の特質なればやむを得ず、若し光るのを嫌はるゝならば其等の色は用ひられざるがよからん、たつて用ひ度いならホワイトを入れゝば光澤は失なはる可し、四別に統系なるものなし、大家とても標準は、どの位なるか區別に苦しむ故姓名を指定さるれば取調ぶ可し、五、黒田清輝、(麴町區平河町六ノ一四)、岩村透(本郷區龍岡町)岡田三郎助(府下澁谷町下澁谷町一八三八)和田英作(麻布區霞町二六)藤島武二(本郷區曙町五)長原孝太郎(本郷區駒込動坂町三三六六)小林萬吾(赤坂區新坂町六五)中村勝次郎(下谷區谷中町三七)久米桂一郎(麻布區飯倉町片町六)六、文房堂は神田區表神保町二番地、七、無し、
■私は別記載の如き會を設立し廻覽帖を編纂して繪畫研究の一端とせんかため斯く計畫しました、春鳥會の先生方に御賛成を願ひます、そして廻覽帖の御校閲を御願致したいのですがいかがでせうかお伺致します(きさらぎ會主人)◎承知しま

した、一、春鳥會便利代理部春鳥堂は廢されましたか、二新刊紹介の部にサソラと云ふ雜誌の如きもの有之候ひしが美術雜誌(洋畫)にて候や、一冊定價何程にて候や、三文房賞商品目錄は郵券如何程に候か愛讀者)◎一、春鳥會便利代理部は廢されましたか、春鳥堂は、營業していません、二、文藝雜誌、金七錢三、往復はがきにて申込次第實價表を送附さるゝ等なれども目下實價表品切の由、

讀者の領分

▲僕は先月號で廻覽帖の計畫を發表した處が不幸にして住所姓名が漏たので意の如く成らぬなかつた。で僕は本號を借りて今少し細かく内容を發表しようと思ふ。先づ繪の大きさはワットマン廿五切(六二・四二)以下、一人一枚以上、繪畫説明は別紙に細記すべく、卷末に需供案内、通信欄及び互評欄等の頁を備ふる考で卷成るに及びて廻覽第一着として僕の理想は春鳥會の先生方に御校閲を御願致す希望である。諸子よ乞願はくば僕の計

畫に御賛助あらんことを！御賛成の諸子は下名迄御送附を。七月號で長野の横川毅君がたそがれ會なるものを設立した。僕は彼會の大いに發展されんことを祈る。横川君よ以後はお互に便宜を計られんことを希む。千葉縣山武郡鳴濱町白幡藤田勝吉方「きさらぎ會」宛

▲此回赤城先生は特に吾々のために此の「みづゑ」經營に御盡力なし下さると誠に吾々は天下先生を突然失つて以來日暮れ旅遠く將に草鞋まで切れんとする状態であつたかゝる所にかゝる報に接し僕は一人て寄宿舎の廊下を飛び廻つて喜んだ嗚呼何の幸福か之に加へんやだ。こんどはお願ひ大平洋畫會出品眞野氏の椿、夏目氏の静物鶴田氏の男の肖像の原色版かみたい、どうぞ願ひます、(宮崎T、丑、)

新刊紹介

◎石川欽一郎氏著 洋畫印象錄
洋畫に關する諸種の問題を斷片的に述べたる書にて稍程度高き畫法講義と見るべ

し、吾人の常に感じて而も餘りに感ずるの多き爲、却て困却され易き種々の事項を、よく捕捉陳述せしは誠に周到といふべく、其大膽なる具體的の説明は初學者をして少しも迷はしめず導く點に於て成功しつゝあるも、其規則的的命令なる丈に或點に於ては讀者をして所謂盲從せしめざるやの疑ひ無きにしもあらず。

表題に對しては甚だ無理なる注文なれ共、此書が全冊を通じて多く説明、教導的なる以上、今少しく内容の統一を欲して止まず、思ふに今一層根本の性質より秩序的に論述せしならば、より以上讀者に便宜を與ふるならん、尙又風景に詳論して人物に多く論及せざりしは、聊か物足らぬ感なき能はざれ共、風景を専門として立たるゝ著者に之を求むるは無理な事實なるべし(挿繪鮮明、菊版一五〇頁、美本、目黒書店發行定價金六拾錢)